

令和８年度第１回若葉区支えあいのまち推進協議会
議事要旨

- １ 日 時 令和８年７月１７日（金）１０時００分～１２時００分
- ２ 場 所 若葉保健福祉センター３階 大会議室
- ３ 出席者 委員 ３１名（欠席委員数１名）
傍聴人 ０名、事務局 ９名

４ 議 題

- （１）前回推進協のグループワーク開催報告
- （２）今年度（令和８年度）推進協のスケジュール等
- （３）事例紹介「地域の防災について」（内田委員より）

議題（１）前回推進協のグループワーク開催報告について

若葉区高齢障害支援課海老原主査より令和７年度に開催したグループワーク開催報告についての説明があった。その後、質疑応答及び意見交換に移った。

○稲田委員（植草学園大学）

活発な意見が出て、時間が足りなかった感じがある。これからどうするかが大事。どう消化するのか。行政は何をするのか、地域は何をするのか。そこをやらないともったいないと感じている。

○津田委員（地域福祉活動者）

老人会のメンバーも高齢化し、財政も厳しく、組織の活性化が求められている。今回の議論を聞いて、具体的に参考になることがいくつもあった。より楽しく、持続可能な運営について、今年度中に会員と議論する予定で、再建策を検討することになった。

また、広報活動が欠けてたと気づいた。自分達の視点しかなく、地域の視点が欠けていた。より広報活動を活発化すると共に、広い視点からしてみようという話になった。

○井出委員（東京情報大学）

総括に企業・大学・医療機関との連携促進と書いてある。是非資源として活用してもらえればと考えている。また、学生を実習等として参加させていただくのも活性化の一つになるのではないかと考えている。今やっている活動を活用して

いただくのも、これから新しい取り組みを画策するのも良いと思う。

⇒海老原主査（若葉区高齢障害支援課）

いただいた意見を基に、次回はより内容が濃くなるように企画していきたい。

議題（２）今年度（令和８年度）推進協のスケジュール等について

若葉区高齢障害支援課海老原主査より今年度（令和８年度）推進協のスケジュール等についての説明があった。その後、委員からの意見等は無かったが、社協若葉区事務所より、令和７年度取組状況調査の作成の進捗について説明があった。

○鈴木副所長（社協若葉区事務所）

個票は総会の資料を基に作成している。個票がまとまったら各地区部会に確認していただき、更に修正を加え、提出することを予定している。８月初旬の地区部会連絡会までに個票をまとめたいと思っている。

事例紹介「地域の防災について」

内田委員より、地域の防災に関する内容のミニ講演を行った。その後、委員から質疑応答を受け付けた。

○森委員

食物のローリングストックについて言われることが多いが、その他の助ける物資等を普段の生活で使いながら災害に備えるという考え方はどうなのかお聞きしたい。

⇒内田委員

応用できるものは全て応用しようという「フェーズフリー」の検討会が国で立ち上がり、秋に結論を出すことになっている。今後は「フェーズフリー」の考え方になっていくと思われる。

<その他の連絡等>

○事務局

次回、令和８年度第２回推進協議会は１１月の開催を予定。開催日は、後日、事務局から連絡することとした。

駒野委員長が閉会挨拶をして終了とした。